

主体的な校内研修の実施について

1. 窓口教科をなくす

- ①研究テーマ「資質・能力の育成をめざした授業づくり」
- ②教職員それぞれが興味・関心（苦手）のある教科を選択し、グループ編成する
- ③教科を2～3教科指定する（問題解決型学習スタイル：思考力・判断力・表現力の向上）
- ④教科グループリーダーの決定（リーダーが指導主事招聘など担う）

2. 校内研修計画

- ①基本的な年間スケジュールは、研究主任が4月当初に提案する。（校外研修、英語研修など）
- ②1学期は、グループ別研修を実施、指導主事招聘による学習指導要領の講義・及びディスカッション
- ③グループ別研修後は「振り返りシート」の記入＝可視化し、研究主任とリーダーが分析し、校内研修の方向性を策定する
- ④2学期の提案授業・授業実践につなげる。夏季休業中にグループ別研修日を設定し、2学期以降の計画を立てる（教科グループ単位での主体的授業実践研究）
- ⑤指導案は簡易版。単元構想を重要視＝教育事務所学校訪問の様式活用
- ⑥1学期に招聘した指導主事の都合がつけば学校訪問の依頼（グループリーダー）。
※提案授業＝「グループの代表1名」「複数名」「全員」など自由
※児童参観＝子どもが他の学年の授業を参観し、授業改善に関わる＝学習の主体者
- ⑦『ぶらっと研修』＝他グループの授業も自由に参観できるシステム：特に若手教員対象
※初任研、ステップアップ研修（2年目・3年目）
- ⑧スキルアップ研修＝夏季休業中に実施
・「タブレット活用、eライブラリー機能活用」研修、「教材・教具活用」研修など

3. 校内研修と竹田教育研究会（校外研修）の連携

- （1）2023年度から、小学校教科部会・学年部会の開催日がそれぞれ統一される
 - ①5月18日：全体会
 - ②5月31日（水）：学年部会
 - ③6月28日（水）：教科部会
 - ④8月4日（金）：学年部会
 - ⑤10月4日（水）：教科部会
 - ⑥2月15日：全体会
- （2）学年部会・教科部会の水曜日実施
 - ・「水曜日は研修日」の意識のもと、竹田教育研究会と校内研修を位置づける。
 - ・「一人一実践」の校内研修計画については、別曜日を活用するなど各学校において柔軟に取り組む